

○一自分の居（い）山林又は四壁の内にも、大木我儘（わがまま）に伐り取り申す間敷候、自然伐り取り候わて叶わざる儀これ有り候はば、其の品申し上げ、御差図を請け伐り申すべく候、勿論小木にても猥りに伐りあらし申す間敷候事

○一村々請取にて作り来たり候道橋、毎度御触これ無く候共、念を入れ作り申すべく候、就中（なかんずく）

御公儀様より御掛け成られ候板橋、大小共塵芥（じんかい）これ無き様に常々掃除仕るべく候、若し道橋麁末（そまつ）成る所は、其の請取

場所の名主・百姓御咎め遊ばさるべく候事

●一溜井（ためい）は申すに及ばず、或いは堤或いは用水堀土手、惣じて水御溜め置き候場きり落とし、掛引（かけひき）自分に仕る間敷候、若し水落ち候わて叶わざる所ハ御訴え申し上げ、御差図を請け、水落ち候て跡丈夫に築き留め申すべく候事

●一落坎（いり）・掛坎前々のことこれ請け取り、村々より萱芝土俵等油断無く寄せ置き、自然水出候節、坎戸前立て明け、念を入れ仕るべく候、無念いたし押し切らせ申し候歟、戸

前立て明け延引致し、耕作の損毛（そんもう）致させ候はば、其の請取の郷中何様の曲事にも仰せ付けらるべく候、且つ又

落井堀・掛井堀へ筈（うけ）をふせ、或いは魚をかい取り候たぐい（類）、井堀を築き留め、用水の障りに成り候儀いたし候はば、曲事に仰せ付けらるべく候事

●一掛井堀・落井堀並びに道をせばめ、田畑を仕出し作毛（さくげ）仕付け申し候はば、当人は申すに及ばず、名主・五人組まで何様の曲事にも仰せ付けらるべき事

○一博奕（ばくち）の儀、堅く御法度に仰せ付けられ畏み奉り候、其の外何にても賭（かけ）の諸勝負一切仕る間敷候、若し相背き候ものこれ有り候はば、当人は申すに及ばず、宿並び名主・年寄・五人組まで何様の曲事にも仰せ付けらるべく候事

○一村中に火事出来申し候はば、郷中のもの火消し道具を持ちかけ付け、精出し消し申すべく候、若し出合わざるものこれ有り候はば、御穿鑿の上曲事に仰せ付けらるべき事

○一地借・店借・出店衆・前地の者差し置き候はば、念を入れ請人